



発表項目 (行事名)	令和4年度第1回「ひやまの観光をみんなで考える会」の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 趣旨 檜山振興局では、檜山地域の広域観光の推進に向けた関係者間の情報共有や連携を目的とした「ひやまの観光をみんなで考える会」を設置しています。</p> <p>この度は、厚沢部町で始まった新しいワーケーションのかたち「保育園留学®」に着目し、檜山地域の広域観光推進に向けた取組に繋げるためのヒントを探ります。</p> <p>2 日時及び場所 12月27日 (火) 13:30～14:00 厚沢部町認定こども園「はぜる」 14:15～16:30 山村開発センター集会室 (厚沢部町役場隣接)</p> <p>3 構成団体等 檜山振興局、町、商工会、観光協会、交通事業者、金融機関、宿泊事業者等</p> <p>4 主な次第 (予定) (1) 「保育園留学」の舞台、認定こども園「はぜる」見学 (30分) ※終了後、各自で山村開発センターまで移動 (2) 勉強会 (質疑応答込み105分) テーマ：全国から注目の的！首都圏からファミリー層100組が利用&リピートを希望する、厚沢部町「保育園留学」の取組について 講師：株式会社キッチハイク 代表取締役CEO 山本 雅也 様 厚沢部町政策推進課 政策推進係長 木口 孝志 様 (3) 構成員からの話題提供 (20分)</p>		
参考	保育園留学利用者の余暇の過ごし方や来道手段を知ること、広域観光促進及び管内二次交通の課題解決に繋げていく可能性を探るほか、旅先納税「あっさぶe街ギフト」の仕組みや反響について学びます。		

報道 (取材) に当たってのお願い	地域の前向きな取組として、積極的に取り扱っていただきますようお願いいたします。取材に来てくださる場合は、下記担当まで事前にご一報ください。		
他のクラブとの関係	同時配付		
	同時レク		

担当 (連絡先)	檜山振興局産業振興部商工労働観光課長 南出 TEL ダイヤルイン 0139-52-1284 内線 2400		
-------------	---	--	--

(別紙)

1 保育園留学とは (公式HPより抜粋 <https://hoikuen-ryugaku.com/>)

「保育園留学®」は、地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラムです。

1週間から3週間、こどもが保育園に通いながら家族で地域に滞在できる暮らし体験となります。

お子さんにとっては、幼少期に大自然に触れ、心身ともに健やかに育つ環境を。ご両親には、働きながら、子育てしながらも多様な選択肢を。過疎地域には、子育て家族を招き、地域経済に貢献をもたらします。

「保育園留学®」は、株式会社キッチハイクの商標です。ビジネスモデル特許申請中。

2 厚沢部町認定こども園「はぜる」とは

築50年を迎えた3つの保育所を統合し、建設段階から保護者の意見も取り入れながら、町内唯一の認定こども園として2019年に設立。若年層の人口流出が課題となる中、子育て世代の定住・移住促進に寄与し、地方創生への足掛りとなるように想いを込めて設計がなされ、現在は毎日にぎわいのある場となっている。ミキハウス子育て総研「子どもを通わせたい認定こども園」モデル園に認定。

3 講師紹介

(1) 株式会社キッチハイク 代表取締役CEO 山本 雅也 氏

早稲田大学商学部卒業。博報堂DYメディアパートナーズにて、広告業を越えた雑誌×デジタルの新規事業及びクライアントソリューション企画を担当後、世界中の食卓を訪ねる旅へ。食で人がつながる魅力に感動し、(株)キッチハイクを創業。2021年夏・冬、妻と2歳の娘を連れて、厚沢部町へ保育園留学をする。厚沢部町と認定こども園「はぜる」に感動し、2022年5月、厚沢部町へ移住。



(2) 厚沢部町役場 政策推進係長 木口 孝志 氏

厚沢部町生まれ厚沢部町育ち。専門学校卒業後、厚沢部町役場に入植し、建設課や農林商工課などの部署を経験。2016年より、保健福祉課に異動となり、認定こども園「はぜる」の立ち上げに従事。2021年より現職に就き、キッチハイク山本代表家族の厚沢部訪問をきっかけに、保育園留学の事業化を官民連携で推進し、2022年度より地域創生事業として正式にスタートさせた立役者。